

第10回生活科学系コンソーシアム総会 議事録

日時：平成29年5月16日（火）17：00～18：00

場所：日本学術会議 6階 6-C会議室（1）（2）（3）

出席者：（敬称略）

コンソーシアム構成学会より計24名（うち1名は委員も兼ねる）

| | |
|-------------------|--------------|
| 国際服飾学会 | 増田美子、山村明子 |
| 日本衣服学会 | 阿部栄子 |
| 一般社団法人日本家政学会 | 石井克枝、松本美鈴 |
| 日本家庭科教育学会 | 伊藤葉子、志村結美 |
| 日本消費者教育学会 | 東珠実、柿野成美 |
| 公益社団法人日本食品衛生学会 | 井部明広 |
| 一般社団法人日本調理科学会 | （香西みどり）、笠倉知子 |
| 服飾文化学会 | 岡田宣世 |
| 一般社団法人日本繊維製品消費科学会 | 大矢 勝、小柴朋子 |
| 生活経済学会 | 米山高生、上村協子 |
| 一般社団法人日本保育学会 | 汐見稔幸、守隨 香 |
| 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 | 武見ゆかり、川久保清 |
| 一般社団法人日本健康心理学会 | 山蔦圭輔 |
| 日本健康科学学会 | 信川益明、中村順子 |

日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会委員

小川宣子、塚原典子、香西みどり、薩本弥生、渋川祥子、沖田富美子、都築和代、藤原葉子、倉持清美、片山倫子

欠席者：構成学会

公益社団法人日本栄養・食糧学会、日本食生活学会、公益社団法人日本食品科学工学会、日本健康医学会、公益社団法人こども環境学会

日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会委員

多屋淑子、工藤由貴子、本田由紀、永富良一

資料

1. 出席名簿
2. 生活科学系コンソーシアム第21回会議議事録(案)
3. 平成28年度活動報告案
4. 平成28年度決算報告案
5. 平成29年度活動計画案
6. 運営委員一覧
7. 平成29年度予算計画案
8. 平成29年度年会費
9. 会費入金依頼

10. 構成学会の会長及び連絡系の氏名および連絡先一覧

議題・報告：

1. 生活科学系コンソーシアム第21回会議議事録案の承認（香西）

第21回会議の議事録案について説明がなされ、承認された。

2. 平成28年度活動報告（塚原）

資料3をもとにH28年度の活動報告の説明が行われ、3回の会議、第9回総会、第5回シンポジウム（出席者43名）と第8回博論発表会（出席者50名）が行われたことが報告された。

3. 平成28年度決算報告（薩本）（監査：渋川）

資料4をもとにH28年度の決算案の説明がなされ、次に渋川委員から監査報告の説明がなされた。平成28年度の業務執行状況、収支計算書、証拠書類について監査した結果、正確かつ妥当であることが認められることが報告された。

以上の決算報告案の説明ならびに監査報告により、平成28年度決算報告が承認された。

4. 平成29年度活動計画案（小川）

資料5をもとに以下の説明がなされ承認された。

（1）会議

今後の大22回、23回、24回コンソーシアム会議の開催予定が示された。

（平成29年9月予定、12月予定、平成30年3月予定）

（2）総会

第10回総会 平成29年5月16日（火）

（3）シンポジウム・交流会（案）

日時：シンポジウム平成29年12月25日

場所：共立女子大学

テーマ：未定

担当：守随香（日本保育学会）

運営委員：こども環境学会、日本健康心理学会

（3）第9回生活科学系博士課程論文発表会・交流会

日時：平成30年3月予定

場所：お茶の水女子大学、本館306室

担当：藤原葉子（家政学分科会）

運営委員：日本栄養食糧学会、日本健康科学学会

6. 平成29年度予算案（薩本）

資料7をもとにH29年度予算案が説明され、承認された。

HP関連費の（2）その他の項目は平成28年度20000円で平成29年度24000円となっており、現状にあっていない。自分達で更新しているが、何かあった際には依頼の可能性があるとの説明。

7. シンポジウムの内容について（小川）

家政学分科会では提言を提出した。現在、内容に関する第二の提言を検討中。学術会議では学会とのつながりがなくなったので、できるだけ学会の意見を吸い上げてほしいという学術会議の意向がある。

各構成学会の資格認定や生涯学習に関する取り組みについて意見交換

- ・日本家政学会・・・家庭生活アドバイザーを学会認定資格とすることについて検討中。昨年から動き出している。夏には研修を予定中。
生涯学習に対する家政学の役割や教員免許更新への学会の参画などの社会貢献について生活科学系コンソーシアムで何ができるかという社会への情報発信が必要。(小川)
- ・日本栄養改善学会・・・糖尿病関連など臨床栄養に関する資格を考えている。
- ・日本保育学会・・・学会としては考えていないが、保育士を国家資格にして専門性を上げることを国が検討中。2年ではなく4年で資格がとれるようにする、キャリアパスを作って研修を充実する。副保育士という名称を考えているが、都道府県の責任で研修を実施する予定。
- ・家庭科教育学会・・・新たにはないが、家政教育部会に入っている人は家庭生活アドバイザーの資格について検討している。
- ・日本繊維製品消費科学会・・・クリーニング業者、アパレル業者対象に年に数回講習会を開催。
- ・日本健康心理学会・・・学会認定の資格のひとつとして認定健康心理士があるが、これまで更新制としていたが、更新制を廃止した。
- ・生活経済学会・・・特にないが金融関係と学術交流がある。
- ・日本消費者教育学会・・・日本消費者教育学会のことではないが、別に関わっている日本家政学会の資格検討委員会のなかで、こども環境学会において「こども環境アドバイザー」資格の講習会をやっていることを確認した。日本消費者教育学会でも、学会認定資格が話題になったことはある。

今年の12月25日の生活科学系コンソーシアムシンポジウムでは生涯教育の視点を扱い、コンソーシアムとして組織化できるとよい。家政学会からは家庭生活アドバイザーの準備状況などを話していただくこととし、シンポジストは下記の構成学会に依頼された。

シンポジウムテーマ：「生涯教育について（仮）」

シンポジスト：日本家政学会、日本健康心理学会、こども環境学会

8. HPについて（塚原）

コンソーシアムサイトは構成学会の行事報告はアップされているが、行事報告は含まれていない。今後「meeting and event」として名称を変更し、シンポジウムなど活動内容を入れるためにサーバーの管理面で文字を入れることとし、費用3240円が承認された。

9. 名簿について（阿部）

連絡係等変更があればHPを通して連絡することの依頼があった。

10. 年会費（薩本）

平成29年度68口 会費納入の振り込み依頼の説明があった。

11. 構成学会の行事予定の連絡について（阿部）

まだ連絡していない学会は阿部委員まで連絡のこと。まとまったところでHPにアップ予定。

12. その他（小川）

現在、24期の学術会議会員の推薦が行われ、今後、会員の数を増やすために学術会議から学会へ推薦依頼があった場合は積極的に連携会員を推薦してほしい。

以上